

石蓆梁山泊

～つわぶきの野で夢を叶える～

島根県立津和野高等学校

女子バレーボール部

島根県鹿足郡津和野町後田ハ 12-3

TEL (0856) 72-0106

FAX (0856) 72-0329



令和3年7月号 (VOL.64)

I・令和3年度天皇杯全日本バレーボール選手権大会島根県ラウンド結果報告

7月11日(日)、松江市鹿島総合体育館に於いて令和3年度天皇杯全日本バレーボール選手権大会島根県ラウンドが開催されました。コロナ禍での開催ということで検温はもちろんのこと、観戦者人数制限を設定するなど、感染防止対策を徹底しての実施となりました。大会の開催にむけて、島根県クラブ連盟の皆様には多大なるご尽力を賜り、心よりお礼申し上げます。



県高校総体(6月)が終了し、10月開催の石見地区大会、そして11月開催の島根県高等学校バレーボール選手権大会(春高県予選)に向けて、チームの新たな挑戦が始まっています。緊張感のある試合を経験するために、そしてチームの現状を確認するための大会と位置づけて出場いたしました。今大会であらためて明確になった課題を、今後の練習で克服し、更なる強化を図っていきます。また、今年度、島根県の頂点に立つ安来高校(安来高校A)と対戦できたことは大きな経験となりました。チームの達成目標である「島根県チャンピオン」に向け、日々精進してまいります。今大会にも保護者の皆様をはじめ、たくさんのご来場、ご声援を賜り、厚くお礼申し上げます。

【試合結果】 *詳細裏面

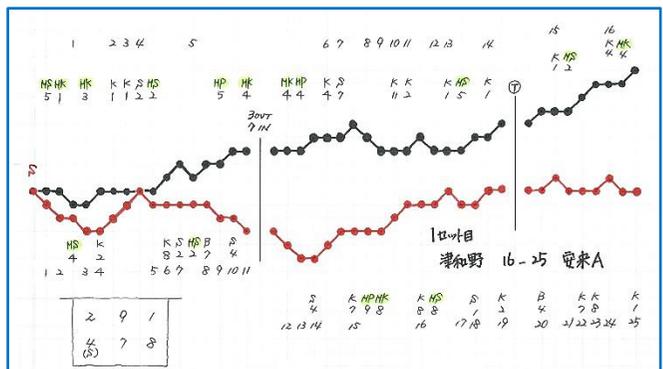
- 1回戦 ○ 津和野 2 { 25-18 25-19 } 0 S K Y (クラブ連盟) ●
- 2回戦 ● 津和野 0 { 16-25 14-25 } 2 安来高校A ○

【戦評 (vs 安来高校A)】

今年度、島根県高校総体を制した安来高校A(安来)と津和野高校(津和野)の対戦。安来は、7月27日(火)から石川県・いしかわ総合スポーツセンターで開催される全国高校総体に向け、今大会でも圧倒的な強さで優勝し、弾みをつけたい。

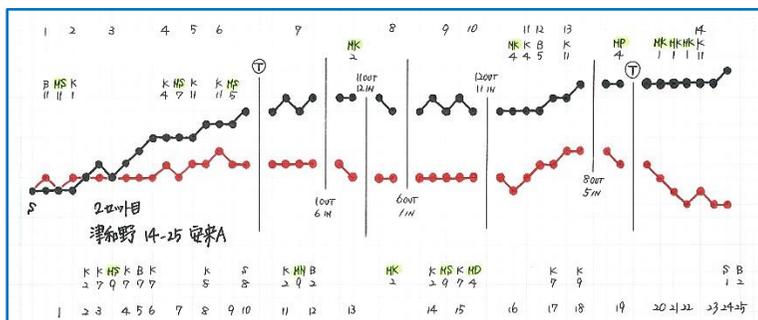
1セット目、開始早々から硬さの見える津和野の連続ミスで安来がリード。しかし、津和野・3年エース、宮内の技ありのスパイク連続決定で同点に追いつく。しかし、津和野より得点力が上回る安来の多彩な攻撃で11-5と、安来大量リード。津和野は、焦れば焦るほど安来の戦略に攻撃を阻まれ、点差が広がるばかり。特に責任感の強い、津和野主将の知念は自ら連続ミスを重ねてしまう。人柄の良さは、けして得点力につながるものではないことをあらためて痛感することになる。しかし、ここから奮起したのが津和野・2年生エースの遠藤。要所で強打スパイクを打ち込み、得点。津和野は、拾って繋ぐ粘りのバレーを展開するも、安来からセットを奪うことは出来なかった。

2セット目は、津和野の攻撃が消極的になり、安来はAパスから速攻で攻撃。得点を重ね、10-6と序盤で大量リード。中盤では、安来に油断があったのかミスが目立つが、津和野も思うように攻撃が決まらず18-13と安来の大量リードは変わらず終盤へ。後がない津和野は、逆にミスを連発。25-14で



安来が2セット連取。セットカウント2-0で安来の圧勝となった。安来は、安定したチーム力で勝利した。

圧倒的な力の差を見せつけられた試合となったが、津和野も粘り強くボールをつなぎ、むしろ繋ぎは津和野の方が上手だったようにも見えた。しかし、攻撃力と強打に対する守備力は格段の差があることが証明された。津和野が今後、トップに立つには、



得点できるサーブを身につけ、エースだけでなくセッター以外のスパイカーが強打を打てるのが達成目標を現実にする近道となる。これから3ヶ月、津和野の選手一人ひとりが意識を高く持ち続け、工夫と創造をテーマに練習に取り組んで欲しい。そして、安来の対抗馬となり、ますます島根県の高校バレーボール界の技術向上に貢献して欲しい。今後一層、熱い戦いが展開されることを願うばかりだ。

教育活動、経済活動、そして私たちの日常生活も大きく制限されています。新型コロナウイルス感染症の流行が収まらず、不安な日々が続いていますが、一日も早く、ワクチン接種が全国民に普及し、日常が取り戻されることを切に願うばかりです。今後の大会開催も様々な感染防止対策が必要となります。引き続き、保護者、関係者の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Ⅱ・令和3年度島根県中学校総合体育大会（バレーボール競技）レポート！

7月23日(金)から3日間の日程で、令和3年度島根県中学校総合体育大会(バレーボール競技)が松江市総合体育館を会場に開催されました。昨年度は、高校と同様に中止となった大会です。2年ぶりの開催となりました。私も審判員として参加させていただき、間近で中学生の熱い戦いを見させていただきました。若い力を見て、ワクワクすると同時に、今後の島根県バレーボール界についてたくさん考えさせられる時間となりました。

松江市では平成30年度に全日本中学校選手権大会(全中)が開催されましたが、その経験が大会運営におおいに活かされていると感じました。役員の先生方もそれぞれが手際よく、積極的にその役割を果たされている姿は、とても心強く感じましたし、私も緊張感を持って審判役員を務めることが出来ました。今後も松江全中での経験が活かされ続けることを願います。更に徹底した新型コロナウイルス感染症感染防止対策もこうじられ、安心・安全な大会となっていました。中学生という若い力を、大人たちがしっかりサポートしている姿に、これからの大会運営にあるべきスタイルを学んだ気がします。

試合は、県西部のチームは、多くが初戦敗退しています。例年の傾向ではありますが残念です。津和野高校も県西部にある高校です。県西部の小中学生の技術力向上に、一層貢献していかねばならないと確信しました。引き続き、津和野高校の競技力を向上させ、小中学生に憧れられるチームになり、今後もツコウ Volleyball Clinic“V クリ”を積極的に開催し、県西部のレベルアップの中心となっていかなければならないと考えています。そして、島根県全体の競技力向上の一端を担っていくことが、我々、津和野高校の使命であると感じました。

“津和野を変える！島根を変える！”私たちのチームスローガンの意味を再確認しました。スタッフ、選手の皆様、大会運営に携わる全ての皆様、保護者の皆様、本当にお疲れ様でした！

“ツコウ”の今をお届けします！

様々な情報発信を心がけています。

ぜひホームページを訪れてみてください。

学校生活や寮生活、部活動に関するニュース満載！

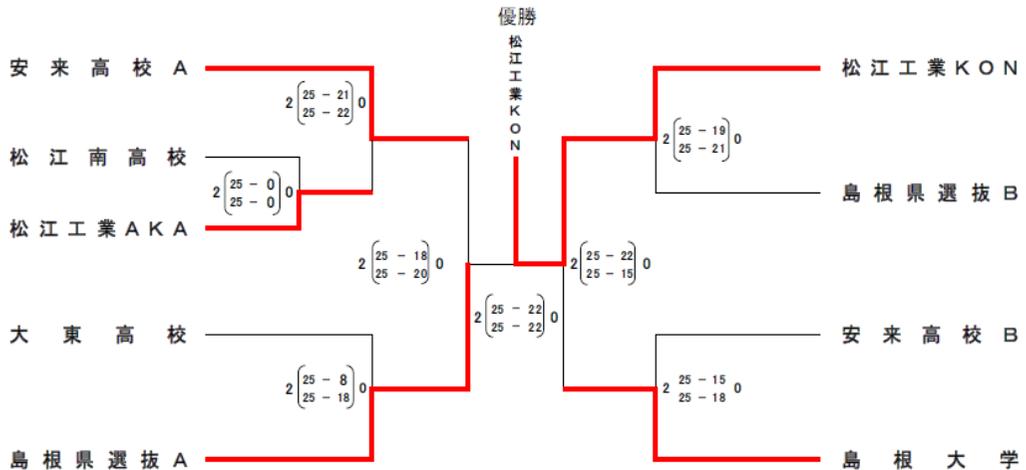
<http://tsuwano.ed.jp/>



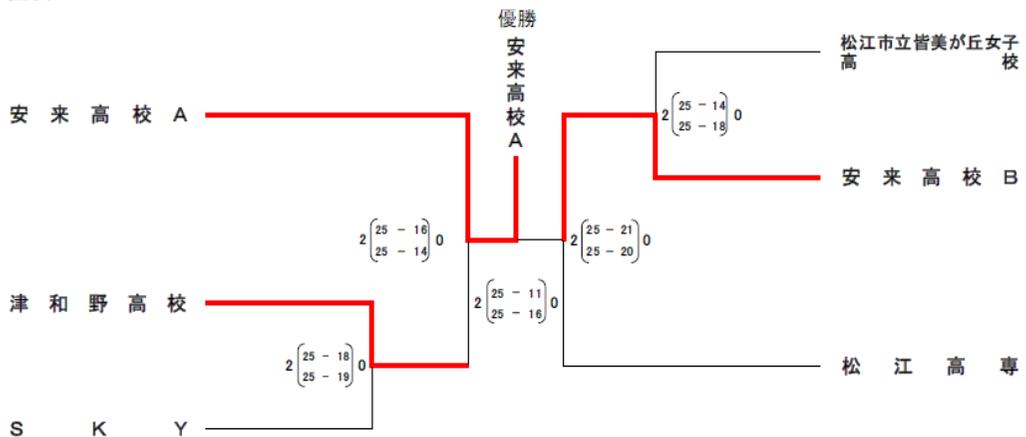
令和3年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権島根県ラウンド

開催日時 令和3年7月11日(日) 試合開始9:30 開場8:00
会場 松江市鹿島総合体育館

男子組合せ



女子組合せ



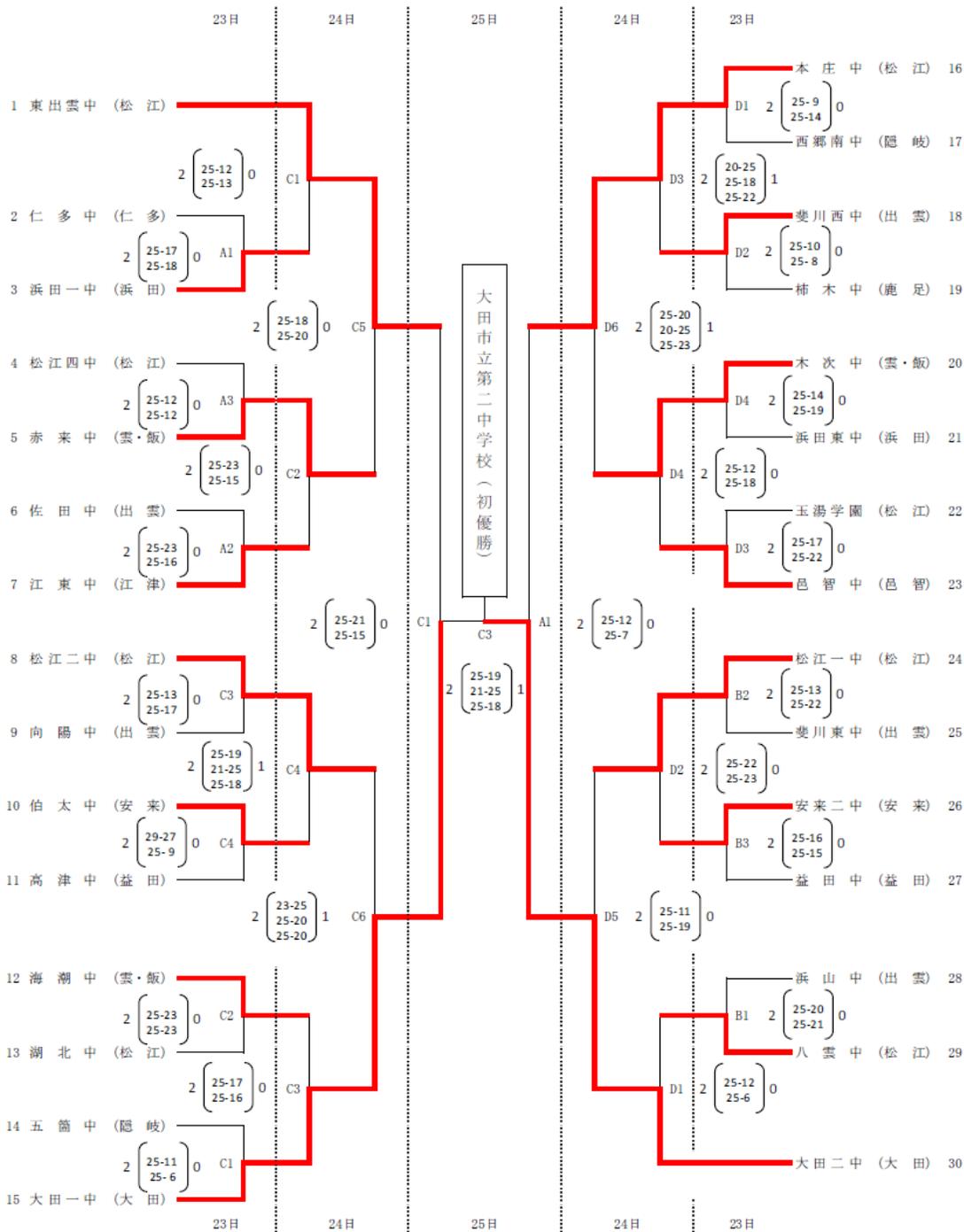
男女優勝チームは、9月11日(土)・12日(日)、山口県で開催される中国ラウンドに出場

～ 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会について ～

平成19年度に日本バレーボール界において根幹をなす大会として第1回大会が開催されました。『日本バレーボール協会に登録する全てのチーム(中学生以上)が、1年度を通して「天皇杯」、「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開催する』を開催趣旨として、6人制の日本一を決める大会です。毎年4月から全国各地で各都道府県ラウンドが開催され、秋にブロックラウンド、そして12月にファイナルラウンドが開催されるという長期にわたる大会です。

令和3年度島根県中学校総合体育大会(バレーボール女子)結果

女子バレーボール組み合わせ



A, B, C...松江市総合体育館メインアリーナ D...サブアリーナ

©西郷南中、湖北中、八雲中、向陽中、斐川東中、赤来中は抽選により石見部枠となりました。

中学生の皆さん！ お疲れ様でした。ますますバレーボールが好きになってください。